

健康

質問 60代男性です。膵臓がんで上腹部に痛みがあり、医療用麻薬（オピオイド）を内服しています。痛みが取りきれいていませんが、眠気が強くてこれ以上内服薬を増やせないため、神経ブロックを勧められました。神経ブロックとはどのような治療ですか？

神経ブロック治療とは



高田 香
徳島大学病院
痛みセンター医師

回答 がん性疼痛とは、がん自体が大きくなることや、他の部位に転移することによって起こる痛みです。オピオイドを中心に消炎鎮痛薬や鎮痛補助薬（抗てんかん薬、抗うつ薬など）を組み合わせた薬物療法で痛みを抑えます。

内服薬では鎮痛が不十分で、副作用のために増量できないといった場合には、神経ブロックや放射線照射などの非薬物療法を併用します。痛みの性状や部位、画像検査結果から神経が痛みの原因だと診断されれば神経ブロックを検討します。

神経ブロックとは痛みのある部位と関連する神経を抑制または遮断する治療法です。エックス線や超音波で位置を確認しながら神経の近くに針を刺して局所麻酔薬や神経破壊薬を投与したり、針

神経機能に作用 痛み抑制



先から高周波熱凝固を行ったりして一時的または長期的に痛みを和らげます。

ペインクリニック科や麻酔科の専門の医師が行います。「がん性痛に対するインターベンシヨナル治療ガイドライン」には、がん性疼痛に対して

がん何でもクイズ

徳島県における2019年の大腸がん検診受診率（40～69歳男女の全国平均44.2%）は、どのくらいですか。

- ①50.1% ②37.5% ③46%

行こうよ！がん検診



イラスト・村田 勝彦

行われる神経ブロックが示されています。質問にある膵臓がんの上腹部痛に対して有効な内臓神経へのブロックを

はじめ、硬膜外ブロック、くも膜下鎮痛法など痛みの部位によりさまざまな種類があります。薬物で鎮痛が難しい神経障害性疼痛、骨転移痛、体動時の突出痛などに有効です。抗がん剤治療や放射線照射との併用もできます。

ただし、針を刺して神経に影響を与える方法のため、出血しやすい、血が止まりにくいといった場合や針を刺す経路に腫瘍や感染がある場合にはできないこともあります。また、ブロックをすることで全ての痛みが取れるとも限りません。感覚・運動神経障害などの合併症を生じることがあります。

がんの早期からその後の経過を推測し、治療と並行して神経ブロックを行うことでオピオイドを減量でき、生活の質が改善できる可能性もあります。主治医とよく相談し、神経ブロックについて担当医から十分説明を聞いて、自分に合った鎮痛法を選択してください。

放射線照射の併用も可能